



～人と地域をつなぐ～

<https://www.sougou-jinsei-daigaku.net/>



第14期生57名 新たなステージへ!

令和元年江戸川総合人生大学卒業式

9月3日(火)、斉藤区長のご臨席のもと、タワーホール船堀で行われました。

Contents

- 2面 14期生 2年間の学びの成果と今後の抱負
- 3面 第14回江戸川総合人生大学祭
- 4面 16期生入学式
新旧学科長(国際コミュニティ学科)からのメッセージ
同窓会の窓

14期生 2年間の学びの成果と今後の抱負

江戸川まちづくり学科

1年次は「江戸川区のこと・地球環境・くらしと健康・防災防犯・カウンセリングなど幅広い知識・教養を身に付け、2年次は「社会活動体験を通じて『企画力・組織力』を強化し卒業後の『生き甲斐・遣り甲斐』の追求に注力しました。各自又は各チームが、調査・研究した成果を『卒業研究発表会』で、関係者各位に披露して卒業となりました。

在学中に『ボランティア団体』を立ち上げた強者、本業を持ちながら『子どもの支援活動』に尽力する者、『花のまち江戸川』を目標に園芸ボランティアとして活動する者、在職中に習得したPCスキルを活かして複数の団体で活躍する者、予定表を隈なく埋めることで『健康増進』を図る者。我がクラスは年齢も経験も様々で、各自のペースで『自分の遣りたいテーマ』を見つけ、明るく楽しく生き活きと活躍しています。

皆さんが、『教養：今日用』と『教育：今日行く』をしっかりと身に付けて元気一杯巣立って行きました。
"秋空へ 心躍らせ 今巣立つ"



国際コミュニティ学科

「観光」「日本語教育」「多文化共生」を課題とする3つのグループに分かれて、卒業発表をしました。

江戸川探検隊では、新川千本桜まつりやボランティアフェスティバルにおいて、江戸川の良さを伝えるために開いた観光案内ブースでの活動や成果の紹介をしました。日本語学ぼう会では、日本語支援者の質の向上を目指して、日本語の教え方の自主勉強会に取り組んだことや日本語ボランティアの現状を報告しました。江戸川よろず相談では、近隣自治体と江戸川区の多文化共生政策の違いや外国人相談の実態について、クイズ形式を取り入れながら説明しました。

最後に、ギッシュ先生から「江戸川区をより人間的な付き合いができる街にすることが共通の課題であり、卒業後の活動に繋げて欲しい。」とご指導いただきました。



子ども・子育て応援学科

教室で…専門科目では「子供の居場所・引きこもり・不登校・子育て支援とボランティア活動・子どもの心のケア」等、子育ての現状について学び、他学科聴講生として「認知症・老い支度」を学びました。子どもの教育や躰、介護の問題は私たちの永遠のテーマであり、「学校・家庭・地域住民が協同していくもの」ということを再認識致しました。これからは、自分を必要としている方々に寄り添いながら、関わっていききたいと思います。仲間との出会いは、今後の生き方に活かせる知識の蓄積の場でした。(成瀬 かおる)

フィールドワークで…共育プラザ葛西を会場として、3歳までのお子様と保護者を対象に「遊びワールド」を展開しました。小さな子どもを大人の目で見ると、共育プラザの関係者とは、子どもの発達過程・興味関心・安全面等、あらゆる場面を想定して何回も打ち合わせをしました。当日、子どもたちの笑顔に出会い、柔軟な発想に驚き、現在の子育てを垣間見ることができました。子どもたちとの触れ合いは新鮮でうれしかったです。(鈴木 満江)



介護・健康学科

卒業発表の各テーマおよび内容をご紹介します。

①一人でも楽しく生きる、あれこれ：朝夕の食事は自分で作り、趣味を楽しみ、歩くことを心掛け、人との会話を楽しみます。もしもの時は、遠くの親戚よりも近くの他人、ご近所さんが頼りになります。②寄り添って：ショートステイでボランティア体験。入居者の体操や、音読、算数、塗り絵、音楽、会話などの日常に寄り添い、学ぶことが多いです。③お金の介護：お金の自己管理が難しくなった時に支援を受ける国の成年後見制度の利用が伸びない。江戸川区では、簡易に利用し易い新たな制度として「安心生活サポート事業」が始まりました。④老化について：高齢でもいきいきとする人々の生き方の極意。社会とのつながりを維持して生き甲斐と夢を持ち、新しいことにも挑戦。歩くなどの運動習慣を継続し、腹八分目でよく噛んで食べる。「老化は年齢ではなく、生き方により決まるもの!」(学科長の言葉) ⑤江戸川総合人生大学：入学の動機・入学生の様子・卒業生の活動状況などを分析。



第14回 江戸川総合人生大学祭

～わがまち江戸川 世代と文化をこえて～



圧倒的なパフォーマンスで会場を魅了！
ダンシングヒーロー♪

座談会：人生大学ってどんなところ？



今年もアカデミックに開催

～あふれる熱気と深まる交流～

第14回江戸川総合人生大学祭が7月20日(土)タワーホール船堀で開催されました。展示コーナーでは学びの成果を発表し、体験コーナーでは子ども達と一緒に遊び、ステージではエネルギッシュな踊り・寸劇を見せ、地域の皆様に人生大学の魅力を強くアピールしました。来場者との交流も深まった一日でした。



手作りのお面が可愛い
思わずにっこり



親子で楽しむ
落書きコーナー



展示コーナー：
じゅんぎぶろう街道をゆく！
説明する人、聴き入る人



江戸川インドダンサーズ
華麗に決める！



フィナーレ 北野学長も一緒に‘世界に一つだけの花’

16期生の皆様、ご入学おめでとうございます。

10月2日(水)しのぎ文化プラザにおいて16期生の入学式が行われ、97名の方が入学されました。

北野学長、各学科長より歓迎の挨拶があり、斉藤区長から励ましの言葉をいただきました。これから2年間学生生活を楽しみ、学び、そして、地域貢献のために何ができるのか一緒に考えて行きましょう。



新入生代表として抱負を述べる田部井 清さん

開学当時から国際コミュニティ学科長としてご尽力いただいたギッシュ学科長が退任され、今学期から野山学科長が就任されました。お二人からメッセージをいただきました。

人生大学の思い出 —未来への希望—



私の人生にとって、江戸川総合人生大学と共に過ごした15年間は、何よりも感謝と喜びの年月でした。如何に外国出身の人と地元の市民と仲良く生活が出来るかという理想は、人生大学の一つの理念でもある。

区民に「地球人意識」を植え付けること、特に国際コミュニティ学科の中心的なねらいは「多文化共生社会」を国籍や民族の違いを乗り越えて共にコミュニティづくりを試みることでした。

私の想像以上に皆さまのお陰で実現に向かっていきます。グローバルインド学校をはじめ日本語学校の留学生、各地域のインド人、在住中国や韓国などの方々とは江戸川の区民と互いに顔と顔が見えてきたこと自体が大きな未来への希望です。

ジョージ・W・ギッシュ

野山学科長メッセージ



江戸川区の皆さん、はじめまして。この10月から学科長に就任しました野山 広(のやまひろし)と申します。

国際コミュニティ学科では、江戸川区に居住する人々の言語・文化的多様化の状況を踏まえて、この地域に在住

する多様な人々を取りまく言語・生活環境の現状、課題等に関して、形成的フィールドワークの方法(江戸川区に共生する多様な人々の言語・生活環境の整備促進に向け、貢献する方法を探究するという利他的考え方の接近方法)や観点から学びます。私たち自身の文化だけでなく、多様な文化(の人々)に対しても理解を深め、その人々との共生・共育、対話・協働、人間交流のあり方について共に考えていけたら幸いです。

野山 広

同窓会の窓



ご存じの方には今さらかもしれませんが、江戸川総合人生大学には、卒業生が運営している同窓会が存在します。今回は主な前期の活動実績を披露させていただきます。

- ①情報誌「同窓会だより」発行や同窓会ホームページ・同Facebookの運営
- ②講演会「葛西臨海公園の今とこれから」
- ③バスツアー「大人の社会見学」の実施(横浜と城ヶ島)
- ④クラブ活動(13クラブが活動中)
- ⑤大学祭参加(「お休み処よってこ」開催)
- ⑥「まるごと!! 江戸川総合人生大学」特別展示への参加・協力
- ⑦人大ボラ連と在校生との集い(卒業生活動グループと在校生との交流会)などです。(他にもありますが紙面の関係で割愛します)

業生活動グループと在校生との交流会)などです。(他にもありますが紙面の関係で割愛します)

今期も引き続き「同窓会会員相互の親睦を図り」・「江戸川総合人生大学の発展に寄与する」よう、活動を行っていく予定です。

同窓会会長 前田 直義(国際9期)

同窓会ホームページ <https://www.jinseidaigaku-dousoukai.net/>
メールアドレス info@jinseidaigaku-dousoukai.net

編集後記

社会に役立つ地域の課題を発見し・認識し、その解決に向けて勉強する場が人生大学です。1年間・2年間、それぞれの学科で学んできた成果を発信してきましたが、興味を持っていただけたでしょうか。入学を希望している方の参考になりましたでしょうか。これからも、編集委員一同、高みを目指し邁進していく所存でございます。

副編集長 栗原 國子(子ども14期)

編集：「ひと あい えどがわ」編集委員

[14期生] 多久島 重、田村 誠二郎(まち) 榎本 清一、山崎 早苗(国際)
栗原 國子(子ども) 川崎 富美雄、松瀬 元春(介護)

[15期生] 新川 里代、谷村 健次郎(まち) 小越 美子、松村 知勝(国際)
赤松 卓人、大塚 恭子(子育て) 佐々木 政幸、橋住 徳幸(介護)